

公表

事業所における自己評価結果

公表日 2026/2/6

事業所名	児童発達支援センター 防府市なかよし園						
	チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	4		・パーテーションを設置するなどしている。 ・身体を動かす課題は園庭を利用している。	・狭い。クールダウンできるスペースがない。 ・もう少し広くても良い。(個室があると良い) ・療育の内容によってはそれぞれ部屋があると良い。 ・室内での運動遊びの活動で大分制限がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	6		・声をかけ合い、休みの職員の所に別の職員が入って補っています。	・子どもの状態に対して職員の不足している。 ・配置基準は足りているが休暇取得が困難。 ・現場での支援以外の事務仕事や行事関係の業務などもあり、且つ休職職員も複数あり、常勤職員の負担は大きい。代替職員の確保が必要である。 ・個別対応が必要だと感じる児に対してすぐに対応できない事が多い。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	4		・絵カードを使用している	・視覚支援が不足している。 ・トイレなど多くの子どもが利用するのに数が足りない。 ・場所や待つ所など視覚的に分かりやすい空間を作れると良い。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	1		・掃除など、環境整備(仕切りなど使用)に気を付けている。	・清掃が後回しになっている。 ・具体的に計画的な環境整備を行う必要がある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	4		・パーテーションを設置するなどしている。	・スペースがない。 ・個別の部屋があると良い。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	1	1	・気付きは終礼などで報告し共有している。ています。業務日誌や会議録を全職員に閲覧している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向や把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		2	・意見を真摯に受け止め早期に対応し保護者に報告している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		1	・終礼や会議で意見を伝え改善の機会を持っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	5	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	11			・園内で各職員が子どもや虐待についての研修をするよう設定し、自己啓発や新しい知識を得る機会を設けている。	・引き続き、職員が自己研鑽できるように配慮していきたい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11				・定期的に見直しをしたい。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	1	1	・アセスメント用紙を利用している。	・アセスメントが不十分な為、内容の検討が必要と考える。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		2	・支援会議には常勤は出来るだけ参加し、共通の意識を持つようになっている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		1		・会議を通して周知徹底できるようにしています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	3	2	・山口県発達障害者支援センターからのコンサルで「氷山モデル」等を用いて事例検討の機会を設けてアセスメントの方法を学んでいる。	・アセスメントの見直しが出来ていない。 ・標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントは行っていません。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		2	各項目を計画書に取り入れ、各項目ごとに個々に応じて具体的に支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		2	・隙間時間にチームで話し合いの時間を設けている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		2	・その日の利用児の特性を踏まえたプログラムを考え方や使う道具などの調整をしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	1	2		・計画は作成されているが、実際の支援内容との検証が必要である。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	3	2	・終礼後やサービス提供時間前、昼休憩等に話し合う時間を設けている。	
関係機関や保	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	8	1	2	・送迎や添乗がない時や、行事の後など時間が充分に取れる時は気づいた点などを振り返り、以降の支援に反映している。	・終礼等で毎日振り返る時間を設ける。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		1	・活動内容以外にも情報共有についても記録をとり、振り返ることが出来るようになっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		2	定期的に行い、適切な見直しをしている。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	2	1	・子どものことをよく知っている担任も参加できるように配慮している。	・現場の支援が人員不足のため必ずしも利用児の担当職員が会議に出席できないことがあるが、児発管と担当職員と一緒に参加できるように努めていきたい。
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	1	1		・医療面が保護者伝え(間接的)な連携になっている。担当医師や医療機関等との直接連携を図るように努めていきたい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		1	・保育所等訪問支援事業を通して情報共有と相互理解を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	1	1		・支援学校との情報交換は必要に応じて行っているが、小学校は行ってないのので今後は検討していく。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	8	1	2	・積極的に会議や研修等への参加をしている。	

護者との連携	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	8	1	2	・年に数回山口県発達障害者支援センターからのコンサルを受けている。 ・非常勤職員の研修案内をし参加を促している。	・事業所内で課題を見つけ研修テーマを決めて年間で取り組みをすることで継続した専門的知識や技術の習得につながる。	
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	8	1	2	参加をしながら連携を図り情報共有を行っている。		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。						
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	10		1	・「ふれあい保育」と称して地域の幼稚園に行き交流する機会を設けている。		
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		1	・新しい事に取り組む際は、園での様子やご家庭の様子を細目に共有している。 ・連絡帳で様子をお伝えしている。	・連絡帳を利用しながら、子どもの様子を伝えていく。	
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	3	2		・ペアレントメンター相談など開催しているが参加者が少ない事が課題。 ・広報活動を検討し参加者を増やすように努める。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		3	分かりやすく、丁寧な説明に努め質問に対し迅速に適切に対応している。		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		2		・機会は設けているが、言葉で伝えづらい点もあるように感じる。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	1	2		・引き続き、保護者の理解を同意を得ていきます。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		2	・プラン説明やモニタリング、特別療育(言語訓練)等の機会を利用して保護者の相談や悩み等を把握し迅速に対応している。	・定期的に相談の日を設定して家族等が相談しやすい体制づくりを行う事で家族の不安を軽減することに繋げる。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	1	2	・行事などを行った時、保護者同士やきょうだい児同士の交流が出来るようにしている。 ・親子で参加できる行事を開催している。 ・総会や大掃除の後に茶話会を設けている。	・きょうだい同士の交流は現状出来ていない。何かイベント等を企画開催することで交流の機会を増やせるよう努めていきたい。 ・父母の会、保護者会は発足されていない。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		2	・保護者が安心して子育てできる様に、引き続き迅速に対応していきます。		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9		2	・毎月園だより、保健だより、食育だより、療育予定表、また、随時行事のお知らせなどを配布している。		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		2	・個人情報関係書類等のFAXやメールは禁止している。 ・個人情報に関する情報は固定電話を利用する事を原則としている。	・利用児の持ち物や書類等を間違えて連絡帳に入れることのないように声出し確認を心掛けて他職員に確認してもらおう。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		2	・連絡帳や文書に加え電話や対面で直接伝達をするようにしている。		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	5	2		・地域住民を招待する行事はないが、地域の行事やイベントなどに参加することで事業所について知ってもらえる機会ができると考え	
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		1	・年1回梅雨時期に土砂災害を想定して保護者への引き渡し訓練を行っている。実際に保護者に連絡をして避難場所に迎えに来てもらっている。	
		46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	1	1		・BCPを策定しているが、具体的な訓練まで行っていない為、今後法人内での訓練を計画実施する必要がある。 ・母子健康手帳の利用により生育歴が把握できる。
		47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10		1	・保護者、医師の指示を通して、全職員で対応できるようにしている。	
48		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		1	・医師の指示書を通して、全職員が対応できるようにしている。		
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10		1	・毎月、避難訓練を行い安全管理に努めている。		
50		子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	2	1	・契約の際に、災害に関する書式を提示しながら保護者に説明をしている。	・保護者への周知を紙面等で行っていく必要がある。	
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		1	・毎日終礼時にヒヤリハットの報告をし事業所内で共有し、再発防止に努めています。		
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11			・園内で各職員が子どもや虐待についての研修をするよう設定し、自己啓発や新しい知識を得る機会を設けている。		
53		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9		2	・現在は該当者はおられないが、必要に応じ対応できるように体制を整えている。		